

10
Oct.
2017



「ハンターホホジロザメ、出動!」(部分)
藤野 りえ
詳細は裏面 >>



清流のジョブコーチ <職場適応援助者>

中島さんは、ジョブコーチ養成研修に参加する以前から担当部署で障がい者と関わっていたそうですが、それまではどう接していいのかわからないことが多かったと言います。

まずは彼らをきちんと知る



ジョブコーチの仕事は楽しいと話す中島さん

今月号で紹介するのは先月号に続き、農業園芸資材の製造販売を行う株式会社東海化成です。同社は2012年から特定非営利活動法人「くらしえん・しごとえん」とコンサルタント契約を結び、様々な支援を受け、企業在籍型ジョブコーチ※を6名配置し、仕組みづくりに積極的に取り組んでいます。今回はジョブコーチの中島さんと、バックオフィスとして障がい者雇用をサポートする野村さん、自らもジョブコーチである常務の景山さんにお話を伺いました。三人はほかの日常業務もこなしながら、障がい者の支援を行っています。

仕組み化で進む障がい者雇用

障がい者もジョブコーチも会社として支援する

株式会社東海化成 美濃市 障がい者雇用数6名

企業在籍型ジョブコーチを企業内に置く場合、企業に在籍型職場適応援助促進助成金を受けられることができますが、同社ではその複雑な申請業務などをサポートするスタッフとして野村さんを総務部に配置し、業務を円滑にしています。

中島さんも「何かあったときの家庭とのやり取りや、申請書類の見直しなど、野村さんにいろいろとお願ひすることができ助かっています。」と話します。(裏面へ続く)

「ジョブコーチ養成研修で言われて心に残っているのは、『障がい者の方が問題を起したとき、注意したり叱ったりすることも大切だけれど、それにはそれ以外の場面ですっきり接していることが大切』というひと言でした。まずは彼らをきちんと知ることが大事だなと改めて感じましたね。そうは言っても、コミュニケーションを取る手が苦手な人も多いので、最初は自ら積極的に接するようにしています。」

もともと人と関わるのが好きで、ジョブコーチの仕事は楽しいと話す中島さんは「社内ではひとりの社員として接しながらも、一人ひとりの特性を見極めて仕事の内容や手順などを探っていきます。ジョブコーチとしてのやりがいは、障がい者の方が自分が教えたことをしっかり吸収し、仕事に生かしてくれている場面を見たときですね」と、笑顔を見せます。





清流のジョブコーチ 〈職場適応援助者〉



ジョブコーチをサポートする野村さん

「会社として障がい者雇用を考えたとき、責任を誰かに偏らせない仕組み作りが重要だと考えました。当社のジョブコーチは現場での実務が多く、デスクワークの時間が十分に取れないのが実情です。そのサポートも含め障がい者を理解できるスタッフを、総務部に置くことにしたんです。この試みは、社内多くのの人に障がい者雇用を理解してもらうためにも良かったと思います」こう話すのは、常務の景山さん。

現在、総務部でジョブコーチのサポート役を務めるのは野村さん。「私は、直接現場で関わるわけではありませんが、障がい者の方の能力や、仕事の内容について分かっていると、現場で頑張るジョブコーチをサポートすることはできません。そのためにもできるだけ生産部に足を運ぶようにしています。実際に接してみてもっと早くからコミュニケーションを取ればよかったですと思いましたね。今はできるだけ顔を覚えてもらえるよう、積極的に声がけをしています」

会社全体で障がい者雇用を

会社全体の方針として仕組みづくりをしながら、障がい者雇用に取り組み株式会社東海化成。その挑戦はまだまだ続きます。

常務の景山さんはこうも言います。「これまで障がい者雇用を続けてきて思うのは、とにかく障がい者と周りの支援者を孤立させないということ。そのためには他部署を巻き込んだ仕組みづくり、周辺業務の組織化、そして、会社の方針であるということ浸透させることが大切だと感じています。仕事の技術を伝承していくと同様に、障がい者雇用のノウハウも次世代にバトンタッチしていかなければ雇用継続は難しくなります。現在の会社の方針を受け継いでもらうためにどうしていくか、コンサルタントや支援機関に支えてもらいながらの試行錯誤が続きますね。」

障がい者自身も、支援者も孤立させないこと



障がい者もジョブコーチ(右)も孤立させないため、周辺業務を組織化することで会社が活性化

※障がい者を雇用する企業自体が配置するジョブコーチ。また、ジョブコーチには、地域障害者職業センターに配置された「配置型」もあります。

SCHEDULE スケジュール ※変更になる事があります。

ジョブミーティング (高山)

求職者だけでなく将来就職を考える方に企業を知ってもらう就職相談会。今後の採用に向け、希望者と出会い、就労支援のネットワークを築くことができます。

10/18(水) 13:00~16:30 高山市民文化会館

はたらく障がい者の交流会 (高山)

障がい者が、仲間とともに仕事について話しあう交流会。面接の悩みや、自分らしく働く方法について考えます。

・はたらく悩みを共有 ・面接会や就労への疑問

10/28(土) 11:30~15:30 高山市民文化会館

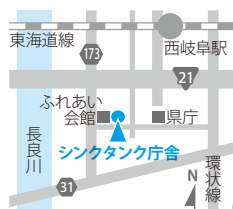
Art& Handicapped 障がい者のアート

「ハンターホホジロザメ、出動!」
藤野 りえ



表紙では、毎月障がい者のアートを紹介しています。

今月の作品の作者-藤野 りえさん(揖斐川町)は、ダウン症。幼い頃から生き物を描き続け、特別支援学校美術部で水彩アクリル画など本格的な絵画を始めました。2014年県美術展青年部デザイン部門で入選。2017年8月には、高等部卒業までの作品を集めた初の個展を開催しています。



岐阜県障がい者雇用企業支援センター

〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12 シンクタンク庁舎2階

・岐阜駅から-岐阜バスで約20分「OKBふれあい会館」下車
・西岐阜駅から-くるくるバスで約12分「県民ふれあい会館前」下車

利用時間 月~金 9:00~18:00(祝日・年末年始は除く)



TEL: 058-215-0582

FAX: 058-215-0583

E-mail center@shougaiigyoshien.jp

URL http://www.shougaiigyoshien.jp